

## 事業報告書

本年度は各事業が滞りなく行なわれるよう基本的な事業を中心に取り組んで参りました。

研究助成事業は、サウンド技術振興部門に44件の応募がありその中から10件、また音楽振興部門は23件の応募がありその中から5件に助成金を交付致しました。

音楽普及支援等事業は音楽普及を目的にピアノ演奏家を招聘し、ピアノ演奏特別レッスンを開催致しました。

講演会等事業は、研究助成テーマから8件を選んで講演会を開催致しました。

機関誌「サウンド」は第30号を発刊し、本年度助成受賞者から6名の方々に執筆を頂くと共に、今日までの助成研究テーマ等を掲載して広報に努めております。調査研究事業は音楽普及支援等事業の参加者へアンケート調査を行いました。

以下、事業経過の概況をご報告申し上げます。

### 1. 研究助成事業

#### 1) 平成26年度研究助成

平成25年12月より平成26年2月28日までを期間とし、全国の国公立大学、私立大学等の研究機関及び過去の助成申請者等650件余へ機関誌「サウンド」第29号と助成案内を送付して募集活動を行なうとともに、音響学会誌、電子情報通信学会誌等及び財団ホームページを通じて広報に努めた。

その結果サウンド技術振興部門は34の大学等研究機関より44件の応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月7日の審査委員会にて10件を選定した。

音楽振興部門は16の大学等研究機関より23件の応募を得て事前書類審査を踏まえ、5月19日の審査委員会にて5件を選定した。

理事長にこれを報告し承認を得て、平成26年6月17日東京ガーデンパレスにおいて助成金贈呈式を行なった。

助成受賞者は次の通りである。(所属・役職は申請当時、応募受付順)

【サウンド技術振興部門】

- (1) 音から病態を探る：音響解析を用いた音楽家のジストニアの定量診断の開発  
ハノーファー音楽演劇大学 音楽生理学・音楽家庭医学  
研究員 古屋 晋一
- (2) 四肢麻痺のギター演奏による効果と6本弦ギター用演奏支援自助具「響楽Ⅲ」の開発  
三重大学 大学院 工学部 機械工学科  
技術補佐員 大石 武司
- (3) 超音波の放射力による非接触搬送システムの開発  
同志社大学 理工学部 電気工学科  
准教授 小山 大介
- (4) 農薬アトラジンがカエルの発声回路に及ぼす影響  
ユタ大学 生物学部  
教授 山口 文子
- (5) 難聴児と障害児における音楽療法の効果  
目白大学 耳科学研究所クリニック  
講師 力武 正浩
- (6) 振動履歴や経時変化による楽器用木材の音響的性質変化に関する科学的見地からの検証  
京都府立大学 生命環境学部 生命環境科学研究科  
准教授 古田 裕三
- (7) 老人性難聴者に対する韻律知覚評価法の開発  
国際医療福祉大学 保険医療学部 言語聴覚学科  
准教授 小渕 千絵
- (8) 電子ピアノの直接伝達振動/騒音のアクティブ減振  
熊本大学 大学院 自然科学研究科  
教授 森 和也
- (9) 触覚刺激呈示による聴覚言語聴取補助  
電気通信大学 情報理工学部 情報理工学研究科  
准教授 梶本 裕之
- (10) 呼吸筋の活動調節トレーニングシステムの開発 ～吹奏楽における音の安定性をめざして～  
京都市立芸術大学 大学院美術学部 美術研究科  
講師 上 英俊

## 【音楽振興部門】

- (1) インドネシア・バリ島の古楽「スロンディン」の視聴覚資料化プロジェクト：楽器編成システムによる音響生成を焦点に  
名古屋大学 大学院 文学研究科  
博士研究員 野澤 暁子
- (2) 「復元」研究と実践に関する研究 ～伎楽を例に～  
神戸大学 国際文化学部 国際文化学研究科  
教授 寺内 直子
- (3) 平安末期・鎌倉期の舞楽左方舞の動作様式-その再現の試み-  
京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター  
准教授 田畝 智志
- (4) 伝統的な歌唱を稽古する子どもの歌い方の分析-学校教育における歌唱モデルの構築に向けて-  
静岡大学 教育学部 教育学研究科  
助教 長谷川 慎
- (5) グラフ・ピアノ（1839年頃ウィーン製）の鍵盤アクション部のレプリカ製作と、それを利用した演奏実践研究  
東京藝術大学 音楽学部  
准教授 大塚 直哉

## 2) 助成研究成果報告概要の配信

平成25年度助成受賞者からの助成研究結果報告をとりまとめ、財団ホームページから配信した。

## 3) 平成27年度研究助成募集活動

平成26年12月より平成27年2月27日を締切日とし国公立大学及び主な私立大学のほか過去の助成申請者等に対して募集活動を実施した。

## 2. 音楽普及支援等事業

### 1) 第4回音楽普及支援等事業

音楽普及を目的にピアノ演奏家2名を招聘し、若手ピアノ演奏家を対象にピアノ演奏 特別レッスンを開催した。全国の音楽系大学80校へ開催案内送付、及び財団ホームページを通じて広報を行い30の受講枠が埋まった。なお第6回理事会で可決、第4回評議員会で承認された事業内容を変更したため、定款第20条（報告の省略）に基づき評議員の全員から同意の意思を頂き、また定

款第36条（報告の省略）に基づき理事、監事全員へ通知した。  
特別レッスンの内容は以下の通りである。

名 称 アンドレイ ピサレフ ピアノ演奏 特別レッスン  
開催日 平成27年2月27日、28日、3月1日  
講 師 アンドレイ ピサレフ  
会 場 カワイ表参道 3階 スタジオ A  
受講枠 15（受講者15名）  
受講費 無料

名 称 申 秀貞 ピアノ演奏 特別レッスン  
開催日 平成27年3月6日、7日、8日  
講 師 申 秀貞  
会 場 カワイ表参道 3階 スタジオ A  
受講枠 15（受講者14名：1名欠席）  
受講費 無料

### 3. 講演会等事業

#### 1) 研究助成受賞者講演会

名 称 第26回研究助成講演会  
後 援 経済産業省  
開催日 平成26年10月9日（木）  
会 場 カワイ表参道 2階 パウゼ  
聴講者 40名  
演 題 研究助成テーマより（講演順）

【音楽振興部門】平成23年度研究助成テーマ  
「大澤壽人作曲作品録音プロジェクト」

神戸女学院大学 音楽学部  
非常勤講師 生島美紀子氏

【サウンド技術振興部門】平成26年度研究助成テーマ

「呼吸筋の活動調節トレーニングシステムの開発～吹奏楽における音  
の安定性をめざして」

京都市立芸術大学 大学院美術学部 美術研究科  
講師 上 英俊氏

【音楽振興部門】平成26年度研究助成テーマ

グラフ・ピアノ（1839年頃ウィーン製）の鍵盤アクション部のレプリカ製作と、それを利用した演奏実践研究

東京藝術大学 音楽学部  
准教授 大塚 直哉氏

名 称 第27回研究助成講演会

後 援 経済産業省、浜松市、浜松商工会議所

期 日 平成27年1月21日（水）

会 場 アクトシティ浜松研修交流センター 6階 62研修交流室

聴講者 60名

演 題 研究助成テーマより（講演順）

【サウンド技術振興部門】平成26年度研究助成テーマ

四肢麻痺のギター演奏による効果と6本弦ギター用演奏支援自助具「響楽Ⅲ」の開発

三重大学 大学院 工学部 機械工学科  
技術補佐員 大石 武司

【サウンド技術振興部門】平成26年度研究助成テーマ

振動履歴や経時変化による楽器用木材の音響的性質変化に関する科学的見地からの検証-

京都府立大学 生命環境学部 生命環境科学研究科  
准教授 古田 裕三

【サウンド技術振興部門】平成26年度研究助成テーマ

触覚刺激呈示による聴覚言語聴取補助

電気通信大学 情報理工学部 情報理工学研究科  
准教授 梶本 裕之

【音楽振興部門】平成26年度研究助成テーマ

インドネシア・バリ島の古楽「スロンディン」の視聴覚資料化プロジェクト：楽器編成システムによる音響生成を焦点に

名古屋大学 大学院 文学研究科  
博士研究員 野澤 暁子

【音楽振興部門】平成26年度研究助成テーマ

「復元」研究と実践に関する研究 ～伎楽を例に～

神戸大学 国際文化学部 国際文化科学研究科  
教授 寺内 直子

#### 4. 情報の提供等事業

平成26年度研究助成受賞者である三重大学技術補佐員 大石武司氏、ユタ大学教授 山口文子氏、目白大学講師 力武正浩氏、国際医療福祉大学准教授 小淵千絵氏、京都市立芸術大学准教授 田鍬智志氏、静岡大学助教 長谷川慎氏から執筆を頂き、機関誌「サウンド」第30号を編集し、平成27年1月に発行して大学等関係機関、国立国会図書館、過去の助成申請者等700件に配布した。

#### 5. 調査研究事業

第4回音楽普及支援等事業 ピアノ演奏特別レッスン受講者へ、ピアノを始めた動機や応募理由などについてアンケート調査を実施した。

#### 6. 評議員会・理事会等の開催

##### 1) 第7回理事会

###### (1) 期日及び場所

平成26年5月14日(水) カワイ表参道

###### (2) 附議事項

第1号議案 平成25年度事業報告(案)・収支計算(案)の承認に関する件

第2号議案 平成26年度収支予算の修正に関する件

第3号議案 評議員会招集に関する件

第4号議案 議事録署名人の選任に関する件

###### (3) 議事進行要約

①第1号から第3号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第4号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 河崎 哲男氏 鷺津 有一氏 (50音順)

##### 2) 第4回評議員会

###### (1) 期日及び場所

平成26年6月17日(火) 東京ガーデンパレス

###### (2) 附議事項

第1号議案 平成25年度事業報告(案)・収支計算報告(案)の承認に関する件

第2号議案 平成26年度事業計画(案)・収支予算(案)の承認に関する件

### 第3号議案 議事録署名人の選任に関する件

#### (3) 議事進行要約

①第1号、第2号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第3号議案については、議長が提案を行い、異議なく全会一致で選任され、両評議員もこれを了承された。

議事録署名人 花田 修治氏 藤崎 博也氏 (50音順)

なお、この折り平成26年度研究助成金の贈呈式を併催した。

### 3) 第8回理事会

#### (1) 期日及び場所

平成27年3月12日(木) カワイ表参道

#### (2) 附議事項

第1号議案 平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)に関する件

第2号議案 議事録署名人の選任に関する件

#### (3) 議事進行要約

①第1号議案については、事務局が逐条説明を行い、異議なく全会一致で承認可決された。

②第2号議案については、議長が説明を行い、監事が指名された。

議事録署名人 河崎 哲男氏 鷺津 有一氏 (50音順)

## 7. 庶務事項

### 1) 内閣府への提出書類

(1) 平成26年6月25日、公益目的支出計画実施報告書等の提出に係る申請書類のうち、次のものを電子申請により提出した。

①実施事業(公益目的事業)の状況等

②公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて

③当該事業年度の貸借対照表及び附属明細書

④当該事業年度の損益計算書及び附属明細書

⑤当該事業年度の事業報告及び附属明細書

⑥当該事業年度の監査報告、会計監査報告

⑦当該事業年度の公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告

⑧当該事業年度の正味財産増減計算書内訳表

(2) 平成27年1月20日、公益目的支出計画実施報告書等の提出に係る申請書類のうち、次のものを電子申請により提出した。

①貸借対照表に関する注記

②事業の実施状況についての概要補足

2) その他

(1) 寄附金として、平成27年3月10日に株式会社木伏電気工業所より2万円を受理した。